「さんごママ」のケアマネ日記

http://3515.iza.ne.jp/blog/

昭和12年生まれ、美空ひばりと二日違いの硬骨女です。ひばりや裕次郎は良い時にあの世に行きましたね。今の世は私には耐えられない。
でも黙っていてはいけないのだ。物言う女になります。
さんごママ iza ブログ　第一回エントリー！（2007/06/25）

No！Korea「韓国への反論がここからはじまる」　他

No！Korea「韓国への反論がここからはじまる」

挨拶なさる「在特会会長:桜井誠氏」

19/6/24（日）　梅雨

今日は午後から代々木八幡区民館で表記の集会が開催されたので出席した。２時から６時過ぎまで４人の講師の話を聞いた。

一日中降り続く雨にもかかわらず200名近くの聴衆が１人も途中退席する事も無く最後まで熱心に聞いた。

主催は　「在特会」（在日特権を許さない市民の会）
　　「東亜細亜問題研究会」
基調講演：西村幸祐氏（ジャーナリスト・評論家）
「半日プロパガンダに日本はどう対処するべきか」
第一部講演：米田隆司氏（映画監督＆脚本家）
「映画『かん天な人』と在日問題」
第二部講演：村田春樹氏（外国人参政権に反対する会）
「外国人参政権のもたらす危険性」
第三部講演：秦　郁彦氏（日本近現代史研究家）
「虚構と真実の狭間に揺れる慰安婦問題」

第二部の村田氏は最近度々お会いする方で、この講演の為に数ヶ月勉強なさったそうだが、すればするほどもう日本は駄目なのではないかと、もう遅いのではないかと苦悩なさったそうですが、実は私もそうなのです。

今、現在の日本の置かれている状態を知れば知るほど辛くなります。もう見て見ぬふりした方が気が楽だと思えるのです。

でもそれでは子孫に申し訳ない、戦前からの誇りある日本を知っている、歴史の証人である私達が物申さ無ければ誰が申すのでしょう。辛いけど目をかっと見開いて闘わなければなりません。

日本を配下に置こうとしている特定国はもうすっかりマスコミを支配下に置いていますから、彼らの国に都合の悪いことは我が国民に知らされません。

たとえば、昨日（6/23）の新聞の都内版、２紙の記事を読み比べてみると歴然としています。

産経新聞に、中国籍の１５歳の少年がコンビニに強盗に入り２３万円を強奪したと報じられていました。

同じ日の毎日新聞には、１５歳の少年が、、、としか報じていません。見事に中国籍が抜けています。

毎日新聞しか購読していない読者は１５歳の[日本の少年の非行]としか判らないわけです。

これは日本の新聞でしょうか。どこの国の新聞でしょうか。

今、立ち上がらなければもう手遅れになるのです。

誇りある数千年の歴史ある日本の文化も伝統もそして精神も消されてしまうのです。

特定アジア（中共、韓国、北朝鮮）の却下にひざまずきたいですか。

「維新政党・新風」19/7/5（木）　晴れ

今夜は私が入党している政党の東京事務所の７月度例会に出席した。夜だから中々出席出来ないが今回は選挙運動にいくらかでも協力出来ればと思い出席した。

ハガキ印刷はもうすでに１０００枚以上印刷した。

ポスター貼りを手伝いたいと思っている。

当区の我がテリトリーを張まくりたいと思っているが、経験者によると中々大変だそうである。とても出来ないと思うが、当区だけでも２００箇所以上あるらしい。それも１人でやるのだ。男性ばかりの中で私は異色だと思うが国思う気持ちは抑えられない。地方区の場合は公設の掲示板があるから良いが、比例代表のポスターは各自が貼らしてくれる民家などにお願いして貼らねばならぬ、これが俄素人には困難な事だ。

東京の場合、貼れる場所はほとんど無い。

その点人海戦術の宗教系や共産系などはもう至る所貼りまくりだ。何しろ人材が少ないのだ。一番少ないのは「お金」

頑張ろう。

所で、築地に行く楽しみは「鮨食いねぇ」だ。

今夜も食べた、しかしあほな私は４時頃おはぎを３個も食べたのであまり食べられなかった。残念である。

マグロの赤身が安くてとても美味しい。そして私は貝類が好きだ、貝類は全部制覇した。　生ビールを飲んで、それでも１２貫食べて、　3,292円也であった。安い。

明日は嫌なことは先延ばしにしていた、ケアマネ研修の事で都庁に乗り込む。あぁ、、、、嫌だなぁ。

でも近所なのに都庁の上には上がったことが無いのだ、どんな景色かな、楽しみだ。

「選挙のお手伝い」19/7/13（金）　曇り

昨夜はなぜか判らないがインターネットが不調で日記の記載が出来なくて、それでも諦めきれずに1時頃まで奮闘した。

無線で飛ばしている「無線ＬＡＮの」の不具合だったようだ。

昨日は参院選の公示日で早速「維新政党・新風」の事務所に行ってお手伝いした。まず比例区のポスターに貼る証紙をハサミで小口に切り、全国の党員、応援者に発送する作業を党代表の「魚谷哲央氏」や東京地方区の「鈴木信行氏」自ら一斉に作業した。この作業はとても疲れるものであった。

午後から街宣車に同乗して街宣して回り、6時に「有楽町マリオン前」で比例区候補「瀬戸弘幸」氏と落ち合い二人の演説を聴きながら「チラシ」配りをした。楽しいお手伝いだがほどよい疲労感を感じた。

今日もお手伝い、午前中は事務所でチラシにこれまた証紙を貼る作業をする。こんな何気ない薄っぺらな「チラシ」でも証紙を貼らなくてはならないし、選挙期間中は配布してはいけない「チラシ」もあり私など何度聞いても区別が付かない。

午後から又街宣車に乗り都内を街宣して回る。

そして夕方、秋葉原駅頭で「瀬戸弘幸氏」と落ち合う、瀬戸氏が先に来てすでに演説なさっていたが驚いた事に今まで見た事もない凄い沢山の聴衆が真剣に聴き入っていた事だ。

今まで「渋谷ハチ公前」「新宿東口」「有楽町マリオン前」での街宣を経験しているが、ここの聴衆はちと違うようだ。チラシもほとんどの人が受け取ってくれる。

やはり電脳の街だから、集う人達も意識というか頭の構造が違うような気がする。それともネットで親しんでいる人達だろうか。私の仕事は自己管理の仕事だから、期間中は金、土、日の週末をお手伝いするつもりだ。

今日は靖国神社で「みたま祭り」をやっていて大変賑やかだったので、途中お参りした。この度こうして元気でお手伝い出来て、僅少ではあるが「陣中見舞い」もさせて頂く事が出来る、我が身がとても有り難い。

私の前半の人生は「魂もお金も」ゆとりが無くて自分の事ばかりであくせくしていたのだ。

今こうして政治に、この国の未来に目が向けられるこの境遇がとても嬉しいのだ。それというのも、全て私が偉いのだ。

私はどんな逆境の時でも決して希望を失わず、そして信念を貫き通した。その頃目指した老後が今のこの境遇だ。

ご先祖様、こんな強い頑張る「ＤＮＡ」をお伝え下さってありがとう御座います。